



であい・ふれあい・ささえあい
困ったときはおたがいさま

令和3年3月発行
発行元 NPO法人 ユーアンドアイ
発行責任者 佐藤真智子

ハローユーアンドアイ 第91号

私たちは・・・

歳をとっても 障がいがあっても 住み慣れた地域の中で その人らしく、
心豊かに暮らしていける そんな新しい“ふれあい社会”を目指しています。

・・・会員さんから・・・

リレートーク

・・・会員さんへ・・・

太田 澄江さん「日々是好日」

“日々是好日、これは唐代の雲門禪師の言葉です。樹木希林さんが出演した映画のタイトルになり、禅語としてはポピュラーな言葉ですが、私がこの言葉に出会ったのは、中学2年生の頃、もう60数年前のことです。

ある日、仲良しの友人とささいな事で言い争いになり、お互い口を極めて言いつのり、2人共深く傷ついて家に帰った。部屋でひとり自分の言葉にショックで後悔と悲しさで、顔を机に伏せていると、母が教えてくれたのがこの言葉です。

“日々是好日、その日その日を最良の日ととらえて過ごしていく。たとえ、どんな日であろうとも、雨の日も風の日も、また、辛く悲しい日であってもそれを良き日と受け取っていくということですよ。

「〇〇ちゃんもきっとあなたと同じ気持ちでいる、すぐに会っていらっやい。」と言ってくれたのです。

今もその友人とは親友であることは言うまでもありません。
今、辛く不自由な日々が続いていますが、“日々是好日、
今日も佳き日ととらえて乗り越えていきましょう。



★★抽選会のお知らせ★★



令和2年度最後として、ユーアンドアイでは皆さんと楽しめる“抽選会”を企画しました。

抽選日は3/19です。ほのかの皆さんに協力してもらい景品を用意しています。

わくわく、ドキドキしながら結果を楽しみにして下さい。
当選した方には、各部門よりお知らせします。

★★★★ユーアンドアイの豆知識★★★★

代表の佐藤さんにユーアンドアイの始まりについて伺いました。

Q1 ユーアンドアイはいつできたの？

1999年3月3日“この指とまれ”に賛同いただいた方々がイトーヨーカ堂の後ろにあった“トムトム”に集まり、はじめの一步がスタートしました。偶然ヨーカ堂オープンの日と重なったため喧噪の中での初日となりました。

その後、話し合いを重ねる中、8月に市内緑町でボランティア団体の“ユーアンドアイ”が産声を上げました。引き続き定款等申請書づくりに励み、10月には県より“NPO法人”の認証を受けるにいたりました。茨城県で16番目、龍ヶ崎市では初めてのNPO法人の誕生でした。介護保険制度が始まる(2000年)前年でもありました。

Q2 特定非営利活動法人(NPO法人)って？

基本的に、団体の利益のために行うものではなく、地域の利益と発展のために社会貢献活動を行う団体。社会のニーズに合った柔軟な活動をしていくことができる反面、制約も多い。NPO法に則り、社会的課題に取り組み活動を継続させるためには、事業的要素も必要。

Q3 ユーアンドアイをつくったキッカケは？

高齢社会の到来が取り上げられ、介護保険制度が始まろうとしている時期、私自身の父親が亡くなり、残された高齢の母親が何もできないでいる様子に、自分自身の数年先を考えたとき、公的なサービス(介護保険等)では賄えないサービスが必須になるのではと、考えてしまったことです。

Q4 ユーアンドアイの名前の由来は？

「貴方(you) & 私(I)」そして「友 & 愛」。“困ったときはお互いさま”“助け合いの仲間”をイメージして命名しました。

Q5 ユーアンドアイの理念は？

歳をとっても、障害があっても、住み慣れた地域の中で、その人らしく心豊かに安心して暮らしていける、そんな新しい“ふれあい社会”を目指し、その一端を担うことにあります。

さわやか福祉財団の堀田力氏の理念に共鳴し、沢山の支援をいただいたの立ち上げになりました。そのさわやか財団の理念をそのままユーアンドアイの理念として活動しています。

Q6 ユーアンドアイのマークって？

発足当初から、イラスト等描いていただいている、長山在住の丸山さん制作のものです。見たままのホッコリ感満載のシンボルマークとなって、ユーアンドアイを見守ってくれています。
ありがとう!!!



★★★スタッフの皆さんから頂いた声をお届けします。★★★

うれしかったこと・良かったこと・現場でのエピソードなど

支援に入っている子供と、自分の子供が同じ学年なので、勉強していることがリアルタイムで分かり、帰宅後の子供との会話ネタが増えた。(学校)

子供達の笑顔が見られたこと。お互いにあいさつが自然にできたこと。(学校)

「ありがとう、よかった」「またお願いします」など感謝の言葉を頂いた時。(介護)

「ありがとう」と言われることが多くなりました。体の芯からあたたかさがこみ上げてきます。私もお子さんを見習って「ありがとう」をたくさん言えるような人になりたいです。(学校)

利用者さんに「楽しかったよ」「いつもありがとう」等言っていただくこと。一緒にレクをして大笑いしたこと。(ほのか)

コロナ禍、久しぶりに事務所に訪問、「週1回のゆいがないと寂しいので早く再開してほしいなあ。」(ゆい)

人にも会えず、様々な制限がある中、ぱれっとの子供達やスタッフの皆さんとのふれあいがとても大きな力になっていました。(ぱれっと)

産休から復帰後、「おかえり」「待っていたよ」と言ってもらい、みんなが覚えてくれたことがうれしかった。(ぱれっと)

「いつもありがとう」と言葉をかけられた時。(介護)

子供達と廊下等ですれちがった時に、パッと明るい笑顔を見せてくれるとすごくうれしいなあと思います。(学校)

利用者さんが来る日を待っていてくれること。自分でも生活のメリハリになり、大変な時もあるけど、前向きに考えて、元気である限り続けたいと思います。(介護)

いつも子供達の笑顔に励まされています。子供が「お母さん小さい時から私にやさしくしてくれてありがとう。とてもうれしかったよ。」と手紙を書き、大事そうにカバンにしまいました。普通のことなのかもしれませんが、心が熱くなりました。(ぱれっと)

子供達の成長を見れたとき。(学校)

子供達は走ったり、歩いたり、回ったり、草や落ち葉で遊んだり、自然の生き物を観察したり、笑顔で楽しそうに遊んでいます。子供は遊びの天才です。自分で楽しみ方を見つけています。今は便利な世の中ですが、何才になっても自分で楽しみを探すことも大切だなと思います。(ぱれっと)

飼育していたメダカが死んでしまい、子供達と一緒にお墓を作りました。担当している子は石を置いて、お供え物と一緒におはしを供えました。「天国でご飯食べてくれるといいね」と話していると、「めだかって手がない！はし持てる？」「えー！」となり、「メダカが天国でご飯食べている絵を描いて！」とお願いしてみました。翌日の休み時間に見せてもらうことになりました。どんな絵になるのかな。(学校)

数年前から入らせていただいている利用者さんは、とってお元気な方でよくお話しをしてくださります。「若い頃は山登りをしたり、パソコン練習したり、フラダンスを習ったり、私は年をとっても死ななくて考えられない」このまま状態が永遠に続くかのようにお話をされていました。しかし最近は倦怠感に襲われ、唯一の楽しみだった食事の支度もままなくなり、「早く迎えにきてほしい」とポツリと口にすることもあります。楽しかった頃に、気持ちだけでも戻してあげたいと思いながら入室しています。(介護)

《ユーアンドアイの動き》10月～2月

- | | | | |
|--------|-------------------------------|-----------|------------|
| 10/8 | 龍ヶ崎市障がい福祉サービス事業所
連絡協議会(木島) | 12/10 | 敷地内草刈り |
| 10/9 | ぱれっとリモート研修 | 12/14 | 職員会議・大掃除 |
| 10/12 | 市民協働推進会議(佐藤) | 12/29～1/3 | 年末年始 |
| 10/23 | 理事会 | 1/18 | 職員会議 |
| 10/27 | 龍ヶ崎市こども会議(木島) | 1/20 | 会計リモート研修 |
| 11/12 | セコム定期点検 | 2/10 | ぱれっとリモート研修 |
| 11/16 | 職員会議 | 2/15 | 職員会議 |
| 11/19 | ぱれっと大掃除・研修会 | 2/24 | 会計リモート研修 |
| 11/24～ | ぱれっと壁リフォーム | | |
| 11/27 | ぱれっとリモート研修 | | |
| 11/30 | 水質検査 | | |

※学校話し合いは定期的にケースごとに行っています。

～事務所からのお知らせ～

＜年会費のお願い＞

令和3年度の年会費の納入をお願いします。

＜ホームページについて＞

ユーアンドアイのホームページあります。ご覧ください。
<https://www.npo-ibaraki.or.jp> または
NPO ユーアンドアイ 龍ヶ崎 で検索して下さい。



利用者さんの作品です。事務所が明るくなります。

編集後記

前回より広報誌のリニューアルをしました。カラーになり読みやすくなったとの声をたくさん頂いています。

今後もユーアンドアイの活動を皆さんに発信していきますのでよろしくお願いします。(K×2)

NPO 法人ユーアンドアイ

〒301-0845

茨城県龍ヶ崎市奈戸岡2-195番地

電話(平日 9:30～17:00) 0297-62-2667

FAX: 0297-62-2698

ホームページ <https://www.npo-ibaraki.or.jp>

ご意見・お問い合わせメールアドレス

yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp